

NACCSを巡る動きについて

平成29年3月10日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. CY搬出入関連業務

港湾物流において、効率的かつ正確な業務処理を実現するため、NACCSセンターではCY搬出入関連業務のシステム化を通じて、ご利用者様の間で情報共有が可能となるサービスを提案し、積極的なプロモーション活動を行っています。

(1) ブッキング情報登録業務

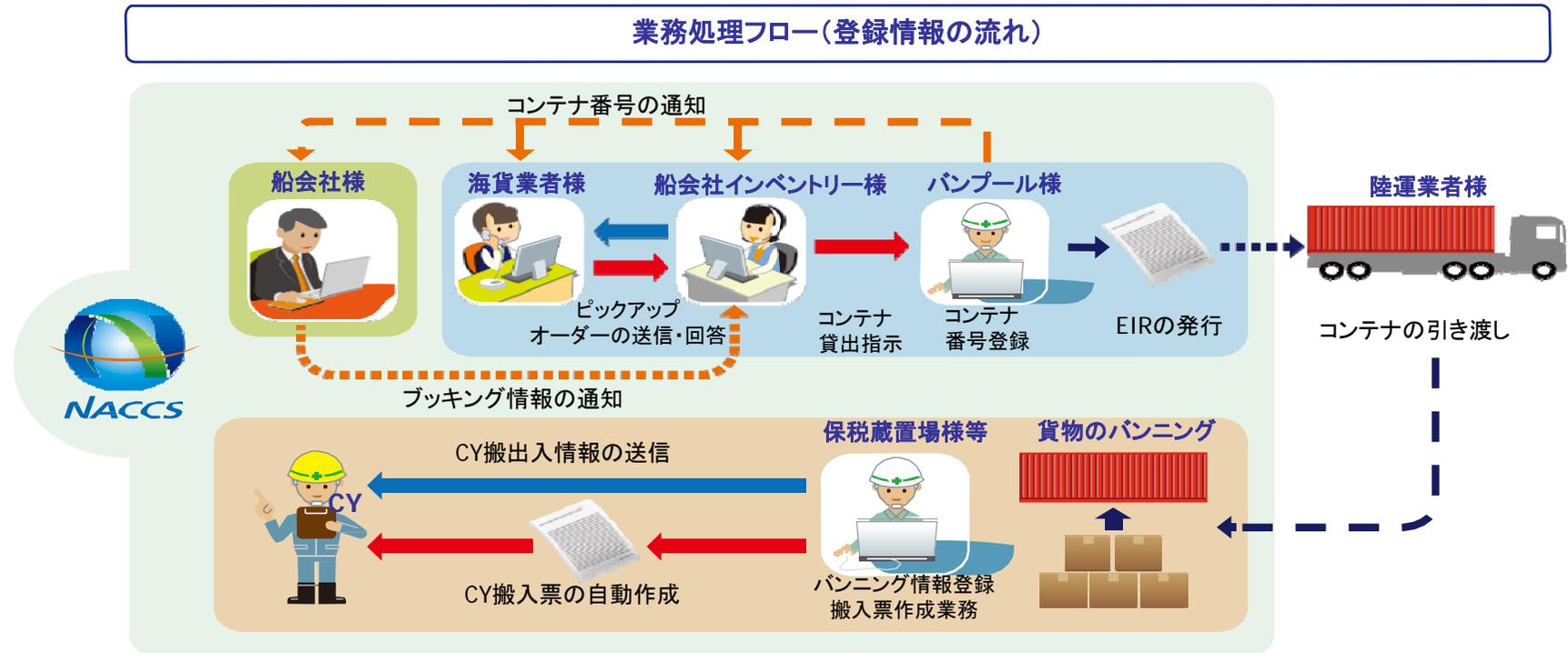
船会社様がブッキング情報をNACCSに登録する業務です。登録されたブッキング情報を使って、共通フォーマットによる作業の共通化・効率化が実現します。

(2) 空コンテナピックアップ業務

輸出用の空コンテナピックアップオーダーを、NACCSの共通フォーマットで行うことができる業務です。

(3) 搬入票作成業務

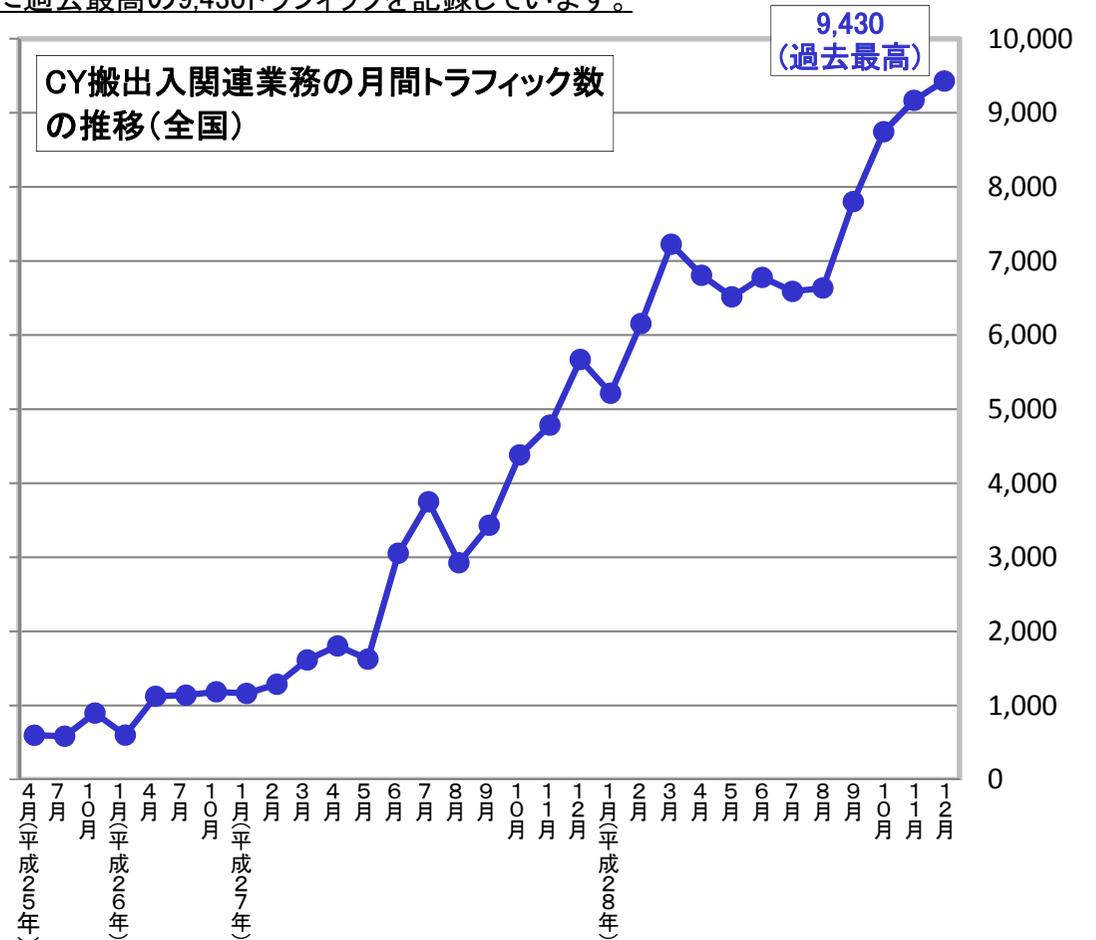
NACCSにコンテナ搬入票の情報を登録する業務で、コンテナ搬入票の作成と併せて搬入先のCYへコンテナ搬入票を送信することができます。



平成28年は、9月頃から空コンテナピックアップ業務を中心に利用が広がっております。
第6次NACCS更改のタイミングも念頭に、新しいターミナルオペレーター(CY)様の加入や海貨業者様の更なるご利用を目指しています。

(1) 全国の導入状況
 現在、全国で9港、15ターミナルでご利用いただいております。

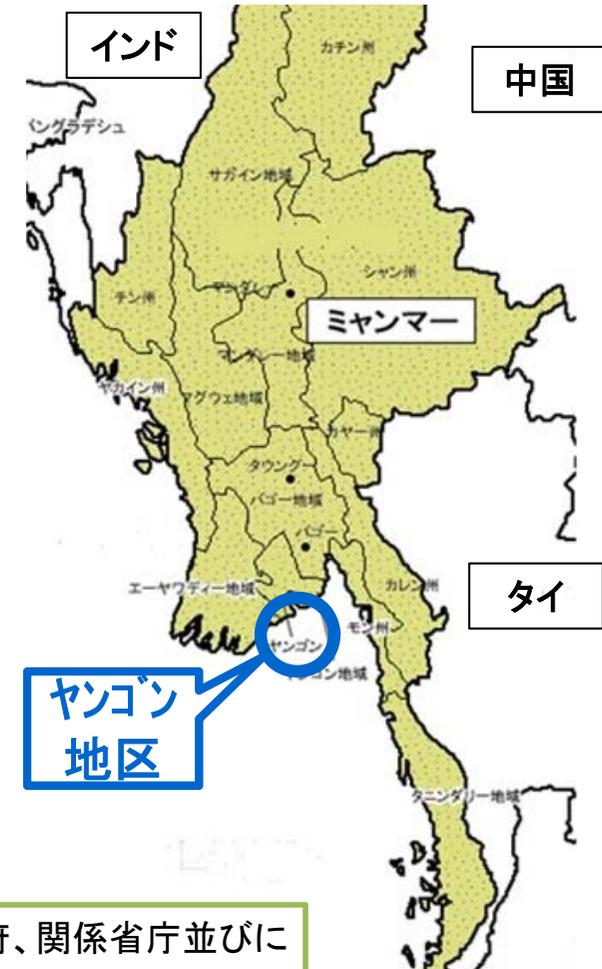
(2) 利用状況(トラフィック件数)
 平成28年は9月頃よりご利用が伸び始め、平成28年12月に過去最高の9,430トラフィックを記録しています。



2. ミャンマーにおけるMACCSの状況

(1) MACCSの稼働状況について

- 2016年11月12日(土) 8時30分、ヤンゴン地区において運用を開始しました。
- MACCSには、民間企業約1800社、税関を含む関係省庁4省庁が参加し、貨物情報を活用した輸出入申告業務、納税、税関による審査、許可を一連の流れで行うことができるようになりました。
- 稼働当初は、システムに不慣れなこともあり、問い合わせも多く、混乱しましたが、今年に入り落ち着いてきました。
- システム上で一部審査終了が未済となっている申告もありますが、その多くは自動車の輸入に関するものであり、その他の貨物については、順調に処理されています。
なお、引き続き、導入地区拡大に向け関係者間で調整が図られる予定です。



(2) MACCS稼働式典について

- 2017年1月6日(金) チャトリウムホテル(ヤンゴン)において、両国政府、関係省庁並びに民間企業等の代表が参加し、MACCS稼働式典が滞りなく執り行われました。

3. 民間株主を迎えた初めての株主総会の開催

- ・ 昨年3月末、NACCSセンターの発行済株式総数10,000株のうち、政府保有義務がある過半数を除く4,999株が一般競争入札により売却され、民間資本が導入されました。
- ・ 昨年6月24日には、民間株主を迎えた初の株主総会を、27者のご出席を得て開催しました。



(参考)

○ NACCSセンターの株主構成

発行済株式総数 : 10,000株

うち政府保有 : 5,001株

うち民間保有 : 4,999株(株主数48者)